

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
ハッピーファーストブック		南区役所企画総務課・南保健センター・南図書館			
事業目的	事業内容	活動指標	H29	H30	R1
(乳幼児期に)絵本の読み聞かせを通して親子が心ふれあうひとときを持つことで、親子の絆を深め、子どもが心健やかに成長することを応援する。	南保健センターで行われるBCG予防接種時に、南図書館で選定した絵本(令和元年度は「てんてん」)を配布する。	絵本の配付数	803冊	842冊	697冊
		BCG予防接種対象者に対する絵本の配付割合	98%	96%	98%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 当事業は、南区まちづくりビジョンに掲げる「子育てしやすいまちづくり」のための取組みのひとつである。絵本の読み聞かせを通じて、親子のふれあいの時間を増やし、親子の絆を深めることを目的としており、実施の妥当性は高い。	○ 読み聞かせのボランティアを区民から募集したほか、子ども司書(子ども司書養成講座を受講した小学生)が参加し、読み聞かせを実施するなど、協働で実施することができた。	○ 読み聞かせを行うことが、乳児が絵本に対して興味を持つきっかけとなり、保護者にとっても読み聞かせの重要性を認識する機会となる。 絵本を活かした子どもとのふれあい方、親子の時間の楽しみ方などを直接アドバイスすることができた。	◎	南保健センターで行われるBCG予防接種時に、絵本の配付・読み聞かせが実施されるため、保護者に改めて来所してもらうことなく効率的に区内の全乳幼児に配布することができ、絵本読み聞かせの大切さについて啓発することができた。	
⑤自立発展性	総合評価				
○ どのような本を選定するのか、どのように読み聞かせを行うのかは、本に関して専門性の高い南図書館職員が行っているが、絵本の紹介や読み聞かせを行うことで、各家庭においても自主的に実施してもらえる。	◎	BCG予防接種後に本事業を行うことで、絵本読み聞かせの大切さを伝えることができ、子育て支援に資することができた。 また今年度は、新たな取り組みとして子ども司書による読み聞かせを行ったことで、子ども司書の活躍の場にもなった。			
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	BCGの予防接種を受けるだけでなく、読み聞かせを希望する方も多いことから、区民からのニーズの高い事業と考える。 今後も、職員だけでなくボランティアや子ども司書と共に取り組むことで、地域と一緒に子育て家庭を支援し、地域間の絆づくりにつなげていく。				